

岡山市連合婦人会創立80周年企画

寄稿 活動を振り返って

岡山市連合婦人会が設立されたのは昭和二十一年（一九四六年）。令和八年（二〇二六年）に八十年を迎えます。

八十年を迎えるにあたり、五名の方に、それぞれの記憶に深く残っている出来事について寄稿していただきました。なつかしい写真と共に、設立当時の様子などに思を寄せていただければ幸いです。



前弘西地区会長
前連合婦人会会長

石尾 玲子

岡山市連合婦人会は今年で八十周年を迎え、おめでとう、さいます。その中で私が所属する弘西地区婦人会は当時六百八十名程度の会員を維持して、私が入会したのは平成十一年で二十六年が経過しました。心に残っている活動を紹介したいと思います。



平成21年の政令指定都市移行を記念し制定された岡山市の鳥「タンチョウ」＝岡山後楽園

市民が選んだ花・木として、キク、クロガネモチ、サルスベリが昭和四十一年に指定されてきました。平成二十一年四月の政令市の実現に向けて、岡山にゆかりのある、格調高いタンチョウを市のシンボルとして指定され、おめでとう、さいます。その中で私が所属する弘西地区婦人会は当時六百八十名程度の会員を維持して、私が入会したのは平成十一年で二十六年が経過しました。心に残っている活動を紹介したいと思います。



元曾根学区会長
元連合婦人会理事

若松 俊子

令和七年は終戦から八十周年を迎えた。空襲により岡山市も焼け野原となり、死者は千七百三十七人以上でした。岡山市連合婦人会は昭和二十一年結成で八十周年を迎える。昭和二十一年十二月六日岡山市中心部十六小学校区約百六十人で発足し、初代会長は守屋くさの指定されました。

地区会長でもありました。私の記憶では第一岡山高等女学校の武道（主になぎなた）の教師でした。戦後の混乱が落ち着いた昭和二十六年に戦火で身寄りのなくなったお年寄りらを近くの後楽園に招き、中でも体が不自由な方をリヤカーで後楽園にお連れし、楽しんで聞いています。この行事が現在の敬老会の起りでしょう。昭和二十六年に第一回の敬老会が後楽園鶴鳴館で開催されました。以後高齢者の長寿を祝し敬愛を込めて開催しています。

翌二十二年一月早速、古着を中心とした不用品交換を実施。青少年健全育成を願ってヒロポン禍から救い、エロ・グロ雑誌から守る等の運動もした。その他闇売買の撲滅、子どもたちへの栄養指導から日常生活全般へと

活動は広がった。四月第一回婦人大会を開催し、会員の連帯を目的に婦人会報の発行をはじめた。昭和二十六年九月には、戦禍で身寄りのないお年寄りを慰めようとする「愛の手」の

園鶴鳴館で開催した。最近では行政面での連携も強化され、全市民の豊かな生活、幸福をもめとする婦人会の活動は社会教育関係団体として重要で今後期待しています。

当時の怒田（めた）会長は器用な方でテキパキと先頭に立ち動かされました。中でも「田んぼの学校」を当時の女性初の萩原校長と立



西学区「田んぼの学校」

たそのうち二十年は、私の父の田んぼを使っていたこと、また、「田んぼの学校」とは、授業の一環として五年生の児童が「田植えから一畝刈り」までを体験学習するものです。この活動は十八年続きました。

今尚、あいさつ運動なども思い出深い活動は継続しています。また、今後は、岡山市連合婦人会結成百周年へ向けて、市民の皆様から高い評価をいただき、大変喜ばれました。



「手作りコースター」二万個の製作、民宿の提供など多岐に渡る活動が国体参加の皆様や市民の皆様から高い評価をいただき、大変喜ばれました。

「愛の手」早朝あいさつ運動の展開、参加者への記念品として



前足守学区会長
元連合婦人会副会長

坪和 陽子



岡山国体後も継続「愛の一声 早朝あいさつ運動」＝平成20年、JR岡山駅前

平成17年開催の第60回国民体育大会に協力し、④記念のコースター作り、⑤民泊の食事作り、⑥国体踊り